

子育て世代に魅力的なまちづくりを目指して



動画視聴



民主・護憲クラブ
奥村 橋倫 議員

子育て支援の 考え方について

問 今後の子育て世代に魅力的なまちづくりについて、市長の考えは。

答 子ども・子育て当事者の声を十分聴きながら、市民、地域、事業者の皆さんと一体となって子育て世代に魅力的なまちの実現に取り組みたい。

問 子ども医療費助成拡充の内容とその影響額は。

答 3歳未満までの子どもの入院及び通院医療費の自己負担額が無料となっているものを小学校就学前まで拡充する。就学後から中学生までの入院医療費の自己負担額は1日につき500円から無料にし、通院医療費の自己負担額は1医療機関一月につき1,200円から500円に引き下げる。

拡充に伴い、年間約4,500万円の予算増を見込んでおり、令和7年1月の実施を予定している。

子ども見守り隊の サポート体制

問 子ども見守り隊の現状把握と必要性をどのように考え

ているのか。

答 子供たちの登下校時に防犯及び交通安全等に係る見守り活動を実施していただいていることで、事故防止や事件の抑止につながり、地域で安心して安全に暮らせるまちづくりの推進に寄与しているものと考えている。

再発言 子ども見守り隊の高齢化と担い手不足が大きな課題。子ども見守り隊への支援の拡充をお願いしたい。



夜間中学の今後の展望

問 開校し2か月経過したが、新たに見つかった課題等は。

答 学習経験の異なる10代から80代までの幅広い年代の生徒が学んでおり、生徒1人1人に応じた学習指導や進路指導が必要。また、廊下やトイレに手すりをつけ、照明を改善するなど、環境を整えている。

今後も、市内の様々な学習ボランティア等と連携し、教育環境の充実に努める。

問 県外や市外からの生徒の

受入れについて協議は進んでいるのか。

答 他の市町との調整を図るための協議会の設置について、福岡県教育委員会と協議を行っている。

市庁舎の今後の取扱い

問 大牟田市庁舎整備基本構想策定審議会の議論の経過や今後の予定は。

答 5月までに3回の審議会を開催しており、第1回の審議会では、庁舎整備に関するこれまでの検討経過とともに、各既存庁舎の耐震性の状況や新基本方針で定めた基本的な考え方を説明。第2回、第3回では、新庁舎整備に当たっての基本理念や新庁舎の規模、各既存庁舎の取扱いなどについて審議を行った。

次回以降は、新庁舎の敷地、事業手法や事業スケジュール、概算事業費及び今後の進め方などについての審議を予定している。

問 本庁舎の耐震化の整備は。

答 計画的な改修工事や耐震工事などの大規模な改修は予定していないが、新庁舎整備までには一定の時間を要することから、これまでと同様に安全対策など、必要な修繕等を行っていききたい。

再発言 本庁舎の耐震性能が不足しているのであれば、早急に対応する必要がある。全ての来庁者や働く職員の安心・安全につながる対策をお願いしたい。